



# 子宮頸がん検診

視診+内診+細胞診検査 20歳以上の女性・2年に1回

## 20歳になったら、2年に1回は受診しましょう!

若い年代でも発症しやすいがんです。  
がんになる前の状態で見つけれれば、子宮を残して治療  
することができ、妊娠・出産が可能です。

### ●検査項目

#### 視診+内診+細胞診検査

医師による視診、内診(子宮の触診)、  
細胞診(綿棒などでこすって  
細胞を採取)を行います。検査時間は  
数分で、痛みもほとんどありません。



#### 子宮頸がんになるまで



### 検診医による検診のススメ

高知県健康審査管理指導協議会子宮がん部会 部長 前田 長正



子宮頸がんは、子宮の入り口に発生するがんで、性交渉によるヒトパピローマウイルス感染が原因と知られています。子宮頸がん検診は、この付近の細胞を調べる検査で、痛みもなく早期発見にとっても大切です。前がんや初期がんの治癒率は95-100%で、ほとんどの場合、子宮温存が可能なため、若いときからの検診がとても大切です。